

11月7日 硫黄島近海の地震

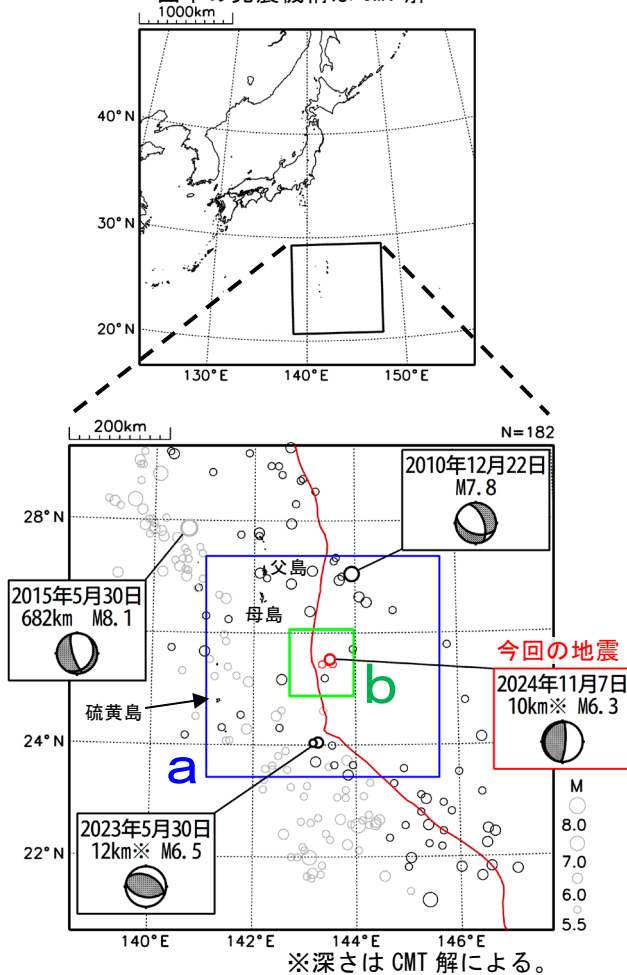
震央分布図

(2000年1月1日～2024年11月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)

2024年10月以前の深さ100kmより浅い地震を濃く、
2024年10月以前の深さ100km～700kmの地震を薄く、

2024年11月の地震を赤色で表示

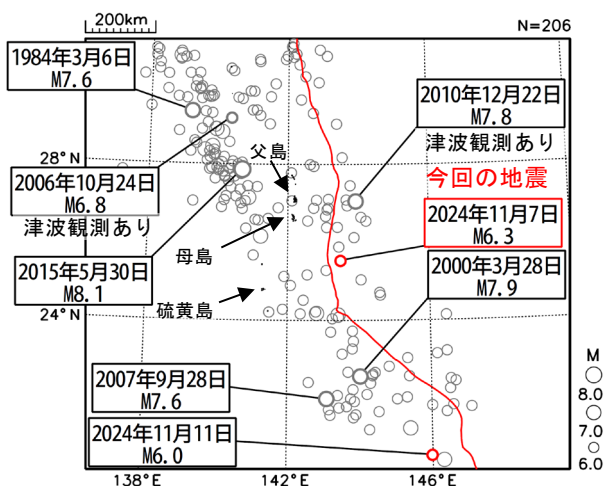
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1919年1月1日～2024年11月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)

2024年11月の地震を赤色で表示



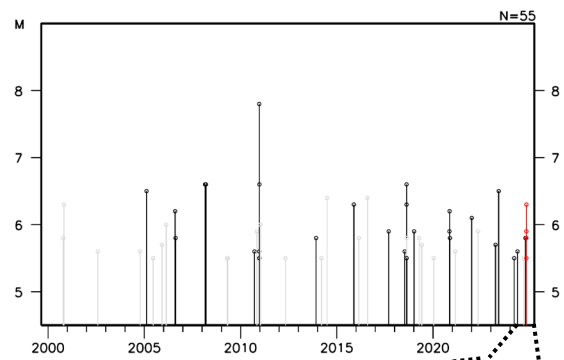
赤線は海溝軸を示す。

2024年11月7日07時54分に硫黄島近海の深さ10km (CMT解による) で $M 6.3$ の地震 (最大震度2) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震の震央付近 (領域b) では、8月からまとまった地震活動がみられ、11月30日までに震度1以上を観測した地震が9回発生した。

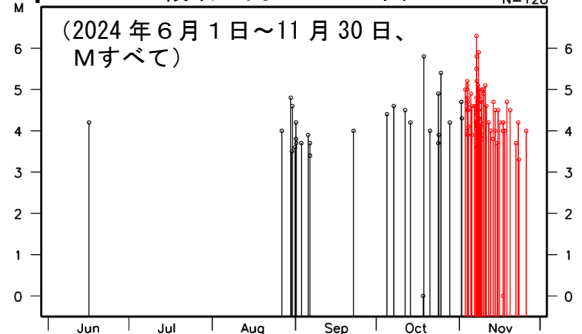
2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、 $M 7.5$ 以上の地震が時々発生している。2010年12月22日には父島近海で $M 7.8$ の地震 (最大震度4) が発生し、八丈島八重根で0.5mの津波など、東北地方から沖縄地方にかけて津波を観測した。

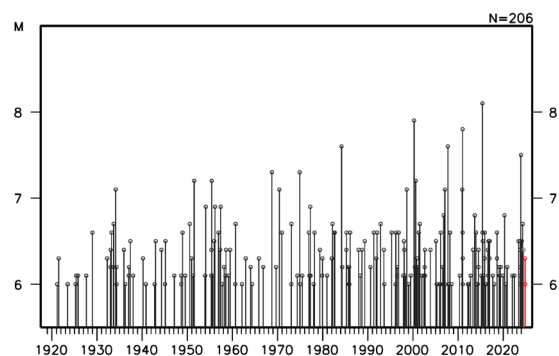
領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



左図の領域内のM-T図



気象庁作成